

平成 30 年度 事業報告

一般財団法人 宮城県成人病予防協会

事業報告

I. 総括

平成 30 年度は附属病院仙台循環器病センターが泉中央駅前に移転し 3 年目を迎えた年でした。病院（診療部門）と併設の健診施設ともに事業収入の面では持続的な増収は確保できていますが、予算達成には若干届かない結果となりました。協会全体の収支差額では、当初の 5 ヶ年計画よりも 1 年前倒しで僅かながら黒字決算を達成することができました。

また、「働き方改革」への対応も含め生産性向上の為の対策検討等、2019 年度に向け、持続的増収とともに安定した黒字経営を確保し、地域の皆様に良質で安心安全な医療を提供できる環境整備を進めてまいりました。

公益目的事業においても、健康増進・予防のための保健指導事業をはじめ、健診・予防・増進・治療情報の年報・機関誌・ホームページによる発信等を積極的に進めてまいりました。公益目的支出計画は平成 30 年度で終了予定ですが、今後も健康増進・予防への貢献事業として継続的に進めてまいります。

II. 診療部門事業報告

仙台循環器病センター

1. 患者中心の医療、良質な医療を継続的に実践するため、必要な整備を行い運用面の最適化を進めます。

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定をめざし病院内のさまざまな運用の見直しを行い、2019 年 3 月に訪問調査を迎え現在中間報告を待つ状況となっております。

2. 必要な医療が迅速に提供できるよう、適切な人員確保を行い、救急告示病院としての対応力をさらに向上させます。

早期退院、早期社会復帰をめざし、リハビリテーション部門を組織編制してスタッフを増員し、心大血管リハビリをはじめとしたリハビリテーション体制を充実させることができました。

Ⅲ. 健康診査部門事業報告

1. 増収対策

- ① 住民健診においては国保加入者の減少により受診人数は減少したが、特定健診詳細項目の実施基準が拡大されたことで、単価が上がり収入は微増となりました。
事業所健診においては定期健康診断の 40 歳未満の検査省略廃止や血液検査オプションの増加による単価のアップ、また新規事業所の獲得により増収となりました。
学校検診においては児童生徒数の減少傾向が続いていますが、大学及び専門学校での感染症検査の受注が増えたことで増収となりました。
- ② 施設健診においては泉中央移転後の受診者数増加、脳健診の開始、胃カメラ、人間ドック、生活習慣病の枠の拡大、2 施設の予約一元化の運用面改善等により、受診者数が増加し増収となりました。

2. フォローアップの強化

保健指導体制を強化し当日階層化により初回面談の実施人数を増やすことができました。また、人間ドック受診者に対する精密検査フォロー体制も合わせて強化し精密検査実施率が向上しました。

3. 生産性の向上及び働き方改革への対応

- ① WEB 予約の利用拡大により人間ドック、協会けんぽ等の受診者数が増加するとともに、予約に関わる作業が軽減できました。
- ② 2020 年 1 月稼動予定の新健診システムについて、要件定義をとりまとめました。また、その過程において帳票種類の大幅削減を行いました。現 1216 帳票→新 248 帳票。約 80%削減。
- ③ 巡回健診に従事する医師、スタッフ不足を解消するため、採用活動を積極的に推進しました。

4. 精度の向上

- ① 日本人間ドック学会の人間ドック健診施設機能評価を受診し、認定を取得しました。認定により、健康保険組合連合会人間ドック・健診施

設に指定されました。また全衛連労働サービス機能評価も更新し、更なるレベルアップすることができました。

② (公財) JKAより競輪公益資金の補助金を受け、デジタル胃胸部検診車(みやぎ14号)の整備を行いました。

③ 精度管理事業に参加し優秀な評価を得ました。

- ・日本医師会精度管理(臨床検査)
- ・日臨技臨床検査精度管理調査(臨床検査)
- ・日本総合健診医学会精度管理(臨床検査)
- ・全衛連総合精度管理(胸部エックス線写真・臨床検査・労働衛生検査・腹部超音波検査)

5. その他

「平成30年度事業説明会」を開催

開催日 平成30年11月21日

参加者 95名(13市町村16名、58団体事業所79名)

内 容

- ・講演 「婦人科がん 最先端の治療を知ろう ～卵巣がん～」
東京慈恵会医科大学
主任教授
医 師 岡本 愛光先生
- ・講演 「運動と脳 ～脳科学最前線～」
東北大学
高度教育・学生支援機構 准教授
医 師 藤本 敏彦先生

IV. 公益活動

1. 健康増進と疾病予防を図るため、生活習慣病予防に関する普及啓発、調査研究、情報収集・提供をしました

1) 調査研究・情報収集・提供

① 事業年報の作成・提供

自治体・大学・企業・健診団体への提供

② 機関誌「TWO BIRDS」の発行（3回）

平成30年4月、9月、平成31年1月

③ 健康増進に係る学会・研修会に参加

日本総合健診医学会、人間ドック学会に各1名参加。日本公衆衛生学会に2名が参加。保健指導に関する31の研修会に述べ46名が参加しました

④ 調査研究

公益財団法人 放射線影響研究所の実施する「東電福島第一原発緊急作業従事者の対する疫学的研究」の調査に協力しました

⑤ 情報提供

健康情報誌（フリーペーパー）の記事作成に協力しました（3回）

2) 健康教室・運動教室の開催等

- ・ 予防啓発に関する講演・講話 29回 1,702名参加
「メンタルヘルス・心の健康を保つために」
「健診結果と生活改善のポイント」等
- ・ 各種健康教室、運動教室・介護予防教室 195回 4,799名参加
「簡単エクササイズ」
「元気アップ教室」
「にこにこフィットネス」等
- ・ 地域健康まつり等への参加 6回 402名参加

3) ホームページでの健康・医療情報の発信

2. 健康診断の結果等に基づいて健康づくり支援を実施しました

1) 地域住民に対して

健診の事前指導・事後指導・結果説明会及び各種健康相談の実施
46回 512名参加
特定保健指導 727名実施

2) 産業保健分野に対して

健診の事前指導・事後指導・結果説明会及び各種健康相談の実施
86回 726名参加
特定保健指導 680名実施

3) データヘルス支援事業
健診結果・医療費の分析を行い、計画策定を支援 3 保険者

4) 禁煙指導
上記の保健指導において喫煙者にニコチン依存症のスクリーニングテストなどを活用しながら短時間禁煙支援を実施しました

V. 理事会及び評議員会の開催状況

定時理事会

第一回 平成 30 年 5 月 24 日（木）
議案 1 平成 29 年度事業報告（案）承認の件
議案 2 平成 29 年度収支決算（案）承認の件
議案 3 平成 30 年度検診車整備事業における補助金交付受諾の件
議案 4 定時評議員会の招集及び提出議案について

第二回 平成 31 年 3 月 22 日（金）
議案 1 平成 31 年度事業計画（案）承認の件
議案 2 平成 31 年度収支予算（案）承認の件
議案 3 就業規則の一部改定について

臨時理事会

第一回 平成 30 年 8 月 27 日（月）
議案 1 評議員選定委員選任の件

定時評議員会

第一回 平成 30 年 6 月 12 日（火）
議案 1 平成 29 年度収支決算承認の件

臨時評議員会

第一回 平成 31 年 3 月 22 日（金）

- 議案 1 平成 31 年度事業計画（案）承認の件
- 議案 2 平成 31 年度収支予算（案）承認の件
- 議案 3 就業規則の一部改定について

VI. 附属明細書について

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上